

道小大会運営研修会（反省会・引継会）

②第 65 回道小旭川大会を振り返って 割石 隆浩 研修部幹事

すべての理事の皆様から話を伺いたいところだが、今回は旭川大会の第 3 分科会と第 2 分科会より 2 名の理事の方にお話をさせていただく。

【第 3 分科会】…………倉本 格克 旭川地区理事

第 3 分科会「評価・改善」について報告させていただく。大会当日は、オンラインのトラブルが発生しないことを願って運営を行い、オンラインホスト、サブホスト、司会者の緻密な連携と万全の準備により、大きな混乱なく分科会を終えることができた。参加いただいた皆様の協力に感謝申し上げます。

さて、本日は分科会の報告を感想も交えながら発表させていただく。

第 3 分科会の研究課題は、「学校教育の充実を図るための評価・改善の推進と校長の在り方」である。本分科会の趣旨説明は、東川町立東川小学校の南部校長先生が行った。分かりやすい資料提示と明快な説明により、研究発表の方向性と意図が明確になった。引き続き、富良野市立布部小中学校の田畑校長先生より、「子どもたちのための学校評価・人事評価を目指して」と題し、富良野市校長会の取組について研究発表が行われた。富良野市の 11 校では学校規模や地域の特性を生かし学校経営を推進している様子が紹介された。市内すべての学校で、「評価活動に関わる可視化」を行うとともに「客観的な評価を目指すこと」、各教職員がその取組状況を評価シートに反映させ、校長による適切な評価により、自己有用感を向上させ資質向上を図ること。さらに、定量的・定性的の両面から働き方改革に向き合い、同僚性を発揮しながら校内の働き方改革を進めようとする前向きな風土を醸成することが重要であることが発表された。

「すべては子どもたちのために」を合い言葉とし、校長がリーダーシップを発揮しながら学校改善を推進している様子が伝わってきた。ブレイクアウトルームでのグループ協議を回っていると、研究発表の視点に基づき、積極的な意見交換がなされていることを強く感じた。

これは趣旨説明と研究発表の内容に整合性がとれていたことに起因していると感じている。今回の提言を受けて、「教職員の参画意識をより一層高めていきたい」「年度途中であっても改善できることは改善していきたい」「教職員の意欲を高めるためにも可視化、分かりやすさ、客観性の視点は有効である」など、大会を通して取組のすばらしさを共有できたことは大きな成果であったと言える。

【第 11 分科会】……………戸澤 法史 空知地区理事

第 11 分科会「社会形成能力」について報告させていただく。

研究課題は、「社会形成能力を育む教育活動の推進と校長の在り方」である。研究発表は、空知地区の岩見沢市立北村小学校、野田校長先生より「将来の夢と希望の実現に向け、社会とつながるキャリア教育の推進」について研究発表が行われた。

内容は、アンケートをもとにした空知管内のキャリア教育推進状況から「組織運営体制の整備」や「持続可能なシステム構築」「取組の情報発信」の 3 点に課題を絞り、各学校の実践事例を紹介し、成果と課題を明らかにしたものであった。

その後の全体協議では、「PTCA（CS と PTA を統合した組織）の取組」や「学校ホームページの取扱い」「地域コーディネーターの取組などがとても参考になった」など、多くの声を聞くことができた。また、多くの学校が掲げる課題として、義務教育学校や小中一貫教育が進む中での地域との連携や地域コーディネーターと学校との連携に苦勞している点が挙げられた。

本分科会の成果としては、一つ目に、地域住民等と目標やビジョンを共有し、コミュニティ・スクール等を活用した組織体制整備を行うこと、持続可能な組織体制整備を構築すること、そのために、校長がリーダーシップを発揮して推進することが確認された。二つ目に、学校経営方針にキャリア教育の視点を位置づけた上で、キャリアパスポート等の取組を含めた年間指導計画を作成すること、学校と地域を結ぶコーディネーターの役割がこれからの社会の創造に貢献する力を育むキャリア教育につながることなどが確認された。

課題としては、地域社会における人間関係が希薄化する中、ウイズコロナを見据え、家庭や地域の理解を得ながら持続可能な連携・協働体制を構築していく難しさが共有された。また、社会形成能力を育む教育活動を推進するにあたって、小中連携の視点、教職員の思いと地域の思いを一致させる難しさ、体験活動と働き方改革の関連が課題として確認された。

今回は初めてのハイブリッド開催となり、旭川市の校長先生方の準備から当日の運営等、とても多くの困難や苦勞があったことと推察している。しかし、そのお陰で素晴らしい大会となった。この場をお借りして、感謝申し上げます。また、提言をしてくださった野田校長先生をはじめ、運営をしてくださった校長先生方、そして、熱心に討議していただいた校長先生方に感謝申し上げます。

来年は、小さな画面越しではなく、直接お目にかかり、より深く協議できることを願い、発表を終わらせていただく。